

児童生徒質問紙からみえる児童生徒の生活

子ども達の学力向上には、学校での授業はもちろん、家庭生活の充実も欠かすことができません。下記の3つのポイントを改めてチェックしてみましょう。

※グラフは、左が小学校、右が中学校です。

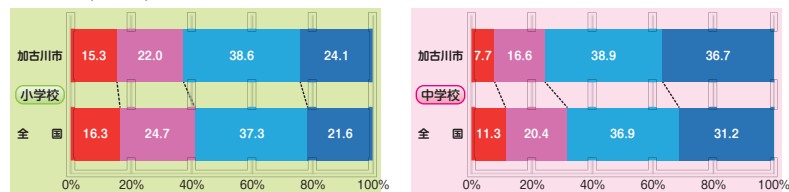
家庭学習の充実



全国と比べると、家庭学習の時間が短い傾向にあります。学校の学習と家庭学習の充実が、学力向上につながります。自分で計画を立てて、家庭学習に取り組む習慣をつけることが大切です!!

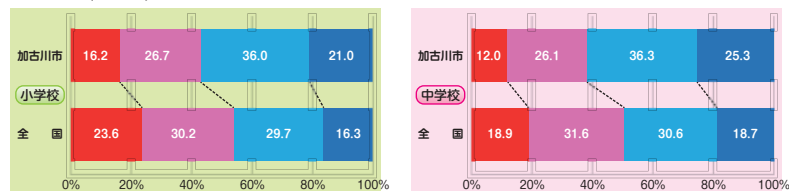
家で、学校の授業の予習をしていますか

(左から) している・どちらかといえばしている・あまりしていない・していない



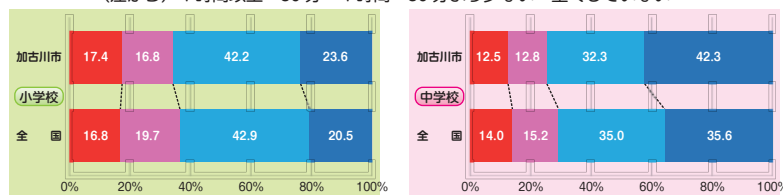
家で、学校の授業の復習をしていますか

(左から) している・どちらかといえばしている・あまりしていない・していない



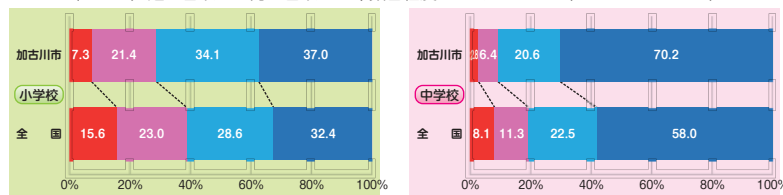
1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか

(左から) 1時間以上・30分～1時間・30分より少ない・全くしていません



図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか

(左から) 週1回以上・月1回以上・年数回程度・全くいかない(ほとんどいかない)



読書習慣の定着



全国と比べると、読書の時間が短い傾向にあります。読書は、新たな知識を得るだけでなく、思考力や想像力を高めます。家族と一緒に読書をし、本の内容について話すなど、家庭での読書習慣の定着を図ることが大切です!!

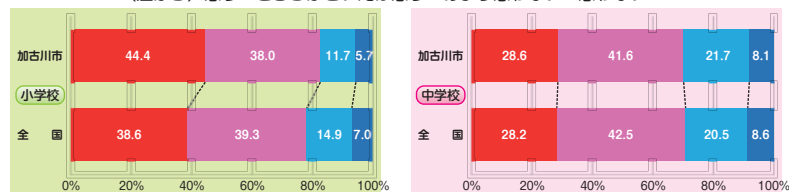
自尊感情の育成



全国と比べて、「自分によいところがある」、「夢や目標を持っている」児童生徒が多く、自尊感情が高いことが分かります。家族の励ましやがんばりを認める言葉かけは、児童生徒の力の源になります!!

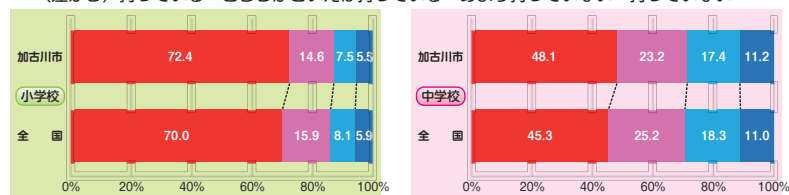
自分には、よいところがあると思いますか

(左から) 思う・どちらかといえば思う・あまり思わない・思わない



将来の夢や目標を持っていますか

(左から) 持っている・どちらかといえば持っている・あまり持っていない・持っていない



平成29年度全国学力・学習状況調査からみた 加古川市の学力・学習状況

平成29年4月に全国学力・学習状況調査が行われました。この調査の目的は、児童生徒の学力・学習状況を分析し、成果と課題を把握し、授業改善を図ることにあります。

この調査結果から、加古川市の現状を分析し、結果をまとめました。結果は、学力・学習状況の一側面を示すものではあるものの、資料の一つとして活用し、授業改善を図りながら、子ども達の学力向上に取り組みます。

小学校

中学校

国語A

全国平均と同程度であり、基礎的・基本的な学習の成果が見られました。しかし、俳句の情景を捉える「読むこと」や同音異義語に注意して正しく書くことに課題が見られました。(74%)

国語A

全国平均と同程度で、概ね良好な状態でした。特に、事実と意見との関係に注意し、構成を工夫して話す問題や、文脈に即して漢字を正しく書く問題に成果が見られました。(78%)

国語B

全国平均と同程度でしたが、自分の考えを広げ深めるための発言の意図を捉えたり、登場人物の相互関係や心情・場面について描写を捉えたりする「読むこと」に課題が見られました。(57%)

国語B

全国平均と同程度でしたが、見通しをもって必要な情報を集めたり、比喩表現の仕方について捉えたりしながら、与えられた条件に沿って、自分の考えを書く問題に課題が見られました。(72%)

算数A

全国平均と同程度でしたが、小数の乗法の問題場面において、二つの数量の関係を数直線に表すことや、資料を二次元表に分類整理することに課題が見られました。(77%)

数学A

全国平均と同程度で、概ね良好な状態でした。特に、連立二元一次方程式を解いたり具体的な場面で一元一次方程式をつくらたりするなどの「数と式」において、全国平均を大きく上回っていました。(66%)

算数B

全国平均と同程度で、能率的に処理できる計算方法を記述することに成果が見られました。しかし、グラフの特徴を理解し、目的に応じて適切なグラフを選択する「数量関係」に課題が見られました。(45%)

数学B

全国平均と同程度で、資料から必要な情報を適切に読み取ることで、成果が見られる一方、資料の傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに、課題が見られました。(47%)

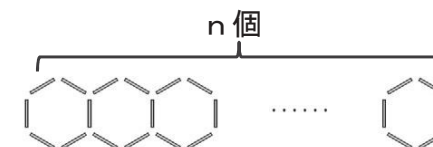
※A問題は基礎的・基本的な知識を問う問題、B問題は知識・技能を活用する力を問う問題
() は本市の平均正答率

問題にチャレンジ!!! ~児童生徒に求められている思考力・判断力・表現力等を問う問題~

<中学校数学B問題>

次の図のようにストローを並べて、六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を考えます。

下の説明の には、同じ式が当てはまります。 に当てはまる式をnを用いて表しなさい。



ストローを図のように囲むと、1つの囲みにストローが6本ある。その囲みがn個あるので、この囲みで数えたストローの本数は6n本になる。このとき、2回数えているストローが 本あるので必要なストローの本数は6n本より 本少ない。したがって、六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を表す式は、 $6n - (\quad)$ になる。

加古川市教育委員会

〒675-8501 加古川市加古川町北在家2000
電話 079(427)9354 / FAX 079(421)4422

問題にチャレンジ!! では、数量関係や法則などを解釈し、数学的に表現する力に関する問題でしたが、これから急激に変化する社会を主体的に生き抜く子どもたちに求められる力をいくつか紹介します。

《A問題》 できる学力 (何を理解しているか、何ができるか)

自分の考えを表現する語彙を増やす

◎下線部のひらがなを漢字で書きましょう。【小】

箱がいてあります。

▲最も適切な言葉を選びましょう。【中】

良い結果を早く出したいときは、

- 1 一事が万事
- 2 論より証拠
- 3 急がば回れ
- 4 光陰矢のごとし

といわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ。



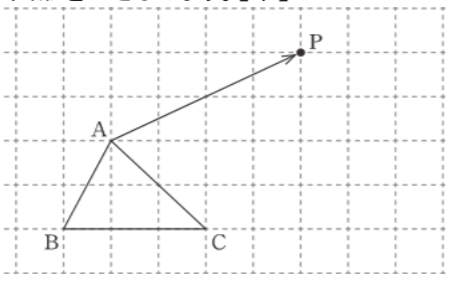
これらの力を定着させるには、繰り返し学習することが大変効果的です。

数と計算、図形の性質を正しくとらえ、処理する

計算をしましょう。【小】

◎ $5 \div 9$
(商を分数で表しましょう。)
▲ $10.3 + 4$

◎点Aを点Pに移すように平行移動した図形をかきましょう。【中】



中心となる語や文を捉え、必要な情報を見つける

◎小野さんは「なぜ六月十日が『時の記念日』なのか」、今村さんは「なぜ『時の記念日』を設定したのか」についてまとめています。二人はどの段落を中心に読めばよいですか。【小】

『時の記念日』は、空で太陽や星の動きが、水や砂の落ちたところから、昔の人は、自然の営みにあわせて、朝、水やりをわすれて、昼休みにあわてて見に行ったらおれかけていたこともあったよ。それから、大きな緑のカーテンを作るためには、たくさんの植木ばちが必要があるんだ。植木ばちの数はどのくらい大きな緑のカーテンを作るかで変わってくるよ。水やりは大変だけれど、すずしい夏が過ぎて、みんなも喜んでくれて本当にうれしかったなあ。何かこまったことがあったらいつでも相談にのるよ。がんばって作ってね。

去年、わたしたちも緑のカーテンを作ったよ。おかげですずしい夏が過ごせたんだ。でも、水やりがとても大変だったなあ。まず、毎朝水をやらないとすぐにかれてしまうんだ。朝、水やりをわすれて、昼休みにあわてて見に行ったらおれかけていたこともあったよ。それから、大きな緑のカーテンを作るためには、たくさんの植木ばちが必要があるんだ。植木ばちの数はどのくらい大きな緑のカーテンを作るかで変わってくるよ。水やりは大変だけれど、すずしい夏が過ぎて、みんなも喜んでくれて本当にうれしかったなあ。何かこまったことがあったらいつでも相談にのるよ。がんばって作ってね。

《B問題》 わかる学力 (理解していること・できることをどう使うか)

▲緑のカーテンをつくったことのある中学生からの【アドバイス】をもとに、【緑のカーテンづくりへの協力をお願い】の【イ】の中に入る内容を、後の条件に合わせて書きましょう。【小】

【アドバイス】

去年、わたしたちも緑のカーテンを作ったよ。おかげですずしい夏が過ごせたんだ。でも、水やりがとても大変だったなあ。まず、毎朝水をやらないとすぐにかれてしまうんだ。朝、水やりをわすれて、昼休みにあわてて見に行ったらおれかけていたこともあったよ。それから、大きな緑のカーテンを作るためには、たくさんの植木ばちが必要があるんだ。植木ばちの数はどのくらい大きな緑のカーテンを作るかで変わってくるよ。水やりは大変だけれど、すずしい夏が過ぎて、みんなも喜んでくれて本当にうれしかったなあ。何かこまったことがあったらいつでも相談にのるよ。がんばって作ってね。

【緑のカーテン作りへの協力をお願い】

緑のカーテン作りへの協力をお願い

6年1組 森・中村・秋山

緑のカーテンとは、夏が来ると、教室が暑くなってしまったことはありませんか。わたしたちは、それを解決するために緑のカーテンを作りました。緑のカーテンとは、まどの外に植えたアサガオなどの植物で、日差しをさえぎるようにしたものです。緑のカーテンを作ると教室をすずしくすることができます。中には布のカーテンをしめればよいという人もいるかもしれませんが、しかし、緑のカーテンを使うと布のカーテンよりも室内の温度を下げるすることができます。例えば、『緑のカーテンを始めよう』という本には、『ア』と書かれています。緑のカーテンは、夏をすずしく過ごすためのふうの一つなのです。

緑のカーテンの作り方

わたしたちは、できれば1階から3階までの全教室をおおように緑のカーテンを作りたいと考えています。そこで、次のように作ろうと思っています。

- 1 大きな植木ばちを用意し、肥料と土を入れて1階に置く。
- 2 1階から3階までネットをはる。
- 3 アサガオの種をまく。
- 4 たくさんの水をやる。
- 5 一番太いつるが1mぐらいになったら先の芽を切る。
- 6 芽が分かれてのびたらネットにまきつける。
- 7 7月になったら肥料を追加する。

水やりに協力してくれる人をほ集めます

水やりに協力してくれる人をほ集めます
大きな緑のカーテンを作るためには水やりが大切です。しかし、水やりはとても大変です。
なぜなら、

イ

このように水やりはとても大変なので、たくさん人の協力が必要です。協力してくれる人はわたしたちに声をかけてください。ぜひいっしょに大きな緑のカーテンを完成させ、全校ですずしい夏を過ごしましょう。

目的に応じて、自分の考えを表現する



読み手に自分の考えが伝わるような文章を書くためには、目的や意図に応じて、根拠となる理由とその事例を区別し、情報から必要な内容を整理して、自分の考えをまとめることが重要です。

【小】：小学校、【中】：中学校の問題。◎は全国平均と比べて、本市児童生徒が得意としている問題。▲は課題である問題。

1から9までの数が書かれたカードが1枚ずつあります。
1 2 3 4 5 6 7 8 9
この中から2枚のカードを選んで、次のような2けたのひき算の答えについて考えます。

カードを使った2けたのひき算

選んだ2枚のカードを並べて、2けたの整数を2つ作り、大きい数から小さい数をひきます。

例えば、1と9を選んだ場合、19と並べると19がつかれます。91と並べると91がつかれます。
2けたのひき算の式 91-19
2けたのひき算の答え 72

選んだ2枚のカードに書かれた数どうしの差を「カードの差」と呼ぶことにします。例えば、1と9の2枚のカードの差は8です。

【問】カードの差を使って、2けたのひき算の答えをかけ算で簡単に求めることができるきまりがあります。このきまりを、言葉と数を使って書きましょう。

各学校では、思考力・判断力・表現力等を育む授業実践に取り組んでいます。小学校算数B問題を例に紹介します。

学習の流れ

2けたのひき算の答えに着目し、分類整理することで、9の倍数になっていることに気付く

見いだした数量の関係を言葉や式に表し、その関係が成り立つ理由を、図などを用いて考える

学習を振り返る

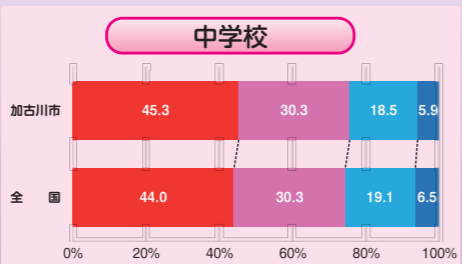
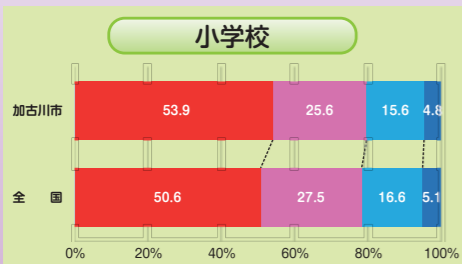
類似点や相違点に着目

根拠を明確にして、自分の考えを表現

学びの定着

家庭でのコミュニケーション

家の人と学校での出来事について話をしますか
(左から) している・どちらかといえばしている・あまりしていない・していない



社会と主体的にかかわり、よりよい人生を送ろうとする力

児童生徒に求められる力は、学校・家庭・地域が一体となって支援することで、身につけていきます。
本市の児童生徒は、全国と比べ、家族や地域の方々とのコミュニケーションがとれており、今後の伸びが期待できます。

地域の方とのコミュニケーション

今住んでいる地域の行事に参加していますか
(左から) している・どちらかといえばしている・あまりしていない・していない

